

平成24年度  
実施事業

事務事業名	商店街活性化事業補助金
-------	-------------

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	3	活力ある地場産業の育成
小分類	3	世代を超えた交流ができる商業空間の形成
主要な施策	1	①地域コミュニティの中心としての役割強化
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	指定区域内において空き店舗を活用して新たに事業を行う者に対して補助金を交付することにより新規出店を促し、商店街の活性化と地域の賑わいの形成を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>【事業内容】</p> <p>指定区域内にある空き店舗を活用して新たに事業を行う者に対して補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助対象経費：補助対象事業を行う部分の空き店舗の賃借料</li> <li>・補助率：補助対象経費の2分の1、上限5万円</li> <li>・補助期間：12ヶ月間</li> </ul> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度：1件</li> <li>・平成24年度：2件（継続1件、新規1件）</li> </ul>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市空き店舗活用事業補助金交付要綱

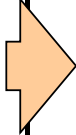
事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	272	736	6,800	6,800	6,800
事業費 合計			272	736	6,800	6,800	6,800

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 補助金交付件数（新規）	件	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	1	1			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
空き店舗が増加することで、商店街の「買い物の場」や「地域住民の安全、安心なコミュニティの場」としての機能が低下してきている。また、個人商店の廃業などの影響により、商店会等の会員数も減少してきており、その活動も停滞してきている。	平成25年度から、指定区域を拡大するとともに、地域の社会課題に対応するため商店会等が実施する事業への支援を拡充する。 また、商店会等が商店街活性化を目的に実施する地域性を活かした事業への支援制度を新たに創設し、商店会等の自主的な取組を促すことで、さらに商店街の活性化を図っていく。	



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="checkbox"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="checkbox"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="checkbox"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 空き店舗を利用して新たに事業を行う者への補助金交付は、民間での実施が難しく、市が主体となって実施すべき事業だと考える。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="checkbox"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input checked="" type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="checkbox"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 空き店舗増加により地域商店街のコミュニティの場としての機能低下が深刻化しており、その対策としての当補助金の必要性は高い。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input checked="" type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="checkbox"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="checkbox"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="checkbox"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 当補助金事業を実施することで、指定区域内にある空き店舗への新規出店を促し、地域商店街の機能の維持、向上が図られることから、効率性の高い事業だと考える。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input checked="" type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input checked="" type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="checkbox"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="checkbox"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 当補助金に関する問い合わせが増えてきており、成果は上がってきていると考えている。

①担当グループによる評価 《Check》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	当補助金に対する問い合わせが増えてきており、指定地区内の空き店舗への出店を考える際の動機づけとして一定の効果を上げているものと考えられることから、今後も当補助金事業を継続していく。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>維持</b>	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

<b>維持</b>	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)